

# 肩腱板断裂の夜間牽引に関する術前オリエンテーションDVDの作成と評価

Replantation and assessment of preoperative orientation of night traction for rotator cuff tear

東3階病棟

執印沙枝子 鈴木ゆかり 長尾章弘 赤池勝美 植村一貴

〈要旨〉肩腱板断裂術施行後に行われる夜間牽引についての術前オリエンテーションDVDを作成した。そのDVDを患者に視聴してもらい、牽引についてイメージができたか、また、牽引時の注意点等が理解できたかについてアンケート調査を行いDVDの評価を行った。DVDは、多少の改善点があったものの、治療のイメージができて理解が得られる内容であったと評価できた。

キーワード：肩腱板断裂、夜間牽引、術前オリエンテーション

## 1. はじめに

当院では、肩腱板断裂患者の手術を年間100例程度行っている。術後、患者は外転装具や外転枕を装着し昼間、リハビリをおこなっている。肩の安静・拘縮予防の目的で、夜間は患肢のスピードトラック牽引を行っている。夜間の牽引は、術直後から退院まで約3週から4週の間おこなわれる。

夜間の牽引を含む入院後の治療経過に関しては、パンフレットやクリティカルパスを用いて説明がおこなわれている。しかし、患者の理解度は様々で、術後の牽引について苦痛や不満の訴えが多く聞かれる<sup>3)</sup>。ひどい場合は、自分で牽引をはずしてしまうというトラブルが発生することがあり、術直後から術後1週間に多くみられる。そのトラブルの発生要因としては、パンフレットやクリティカルパスでの説明だけでは牽引についてイメージがつきにくく、状況に適応できないからと考えられる。

石田は、視聴覚資料が学習者の理解を助けるために有用であると述べている<sup>1)</sup>。

そこで、夜間牽引の術前指導DVDを作成し、そのDVDが術後の夜間牽引をイメージできるものであったか評価をしたいと考えた。

## 2. 研究方法

現在使用しているパンフレットの内容をもとに植村医師のアドバイスをうけ、夜間牽引に関する術前指導DVDを作成した。平成24年7月～11月の4ヶ月間に肩腱板断裂の手術目的で入院

した患者に術前指導としてDVDを視聴してもらった。DVDの内容は、牽引の目的、注意点に焦点を当てナレーション、効果音、字幕を入れ5分程度にまとめた。術後3日に封筒、アンケート用紙を配布、回収した。

アンケート内容は以下の8項目である。

- ①DVDをみて牽引についてイメージができたか
- ②牽引の必要性が理解できたか
- ③牽引の方法が理解できたか
- ④牽引時の注意点が理解できたか
- ⑤DVDを見る時期はどうだったか
- ⑥DVDの長さはどうだったか
- ⑦どのような説明の方法が分かりやすいか
- ⑧DVDをみての感想

## 3. 倫理的配慮

本研究に関しては、信州大学医学部倫理委員会の審査を受け承認を得た。

対象者には研究目的と方法、得られたデータについては本研究以外で使用しないこと、個人が特定されないよう配慮する事を説明しアンケートの提出をもって同意とした。

## 4. 結果

アンケートは対象患者24名に配布し、19名の回収を得た。回収率は79%であった。

①「DVDをみて牽引についてイメージができたか」については、イメージできたが14名、や

やできた5名、ややできなかった、できなかったと回答した人はいなかった（図1）。

②「牽引の必要性が理解できたか」については分かった15名、ややわかった2名、ややわからなかったと回答した人はいなかった、わからなかった2名だった（図2）。わからなかったと回答した理由については記載がなかったため不明。

③「牽引の方法が理解できたか」についてはわかった14名、ややわかった4名、ややわからなかった1名、わからなかったと回答した人はいなかった（図3）。

④「牽引時の注意点が理解できたか」についてはわかった13名、ややわかった4名、ややわからなかった2名、わからなかったと回答した人はいなかった（図4）。

⑤「DVDを見る時期はどうだったか」については速いと回答した人はいなかった。ちょうどよい16名、遅い3名だった（図5）。

⑥「DVDの長さはどうだったか」については短い2名、ちょうど良い17名、長いと回答した人はいなかった（図6）。

⑦「どのような説明の方法が分かりやすいか」については紙面のみと回答した人はいなかった。DVDのみ6名、DVDと紙面両方13名だった（図7）。

#### ⑧DVDをみての感想

- ・とてもよくわかって参考になった。
- ・牽引時に注意することについて牽引角度や位置についてももう少し説明が欲しい。
- ・特に重要な事項は繰り返し説明してほしい。
- ・牽引だけでなくエアボックスの取り付け方の説明も欲しかった。

## 5. 考察

岩田らは、肩関節手術を受ける患者に対するパンフレットを用いた術前オリエンテーションの有用性を述べている<sup>2)</sup>。しかし、牽引動作のように、写真のみではイメージがつきにくい内容は、患者が術前から治療について理解することは困難であり、術後に適応できなかった。

石田ら<sup>1)</sup>は、視聴覚資料を利用する際の心がまえとして①何のためにその資料を使うか目的をはっきりさせることが重要であること②全体の流れのなかでの視聴覚資料の位置づけを明確

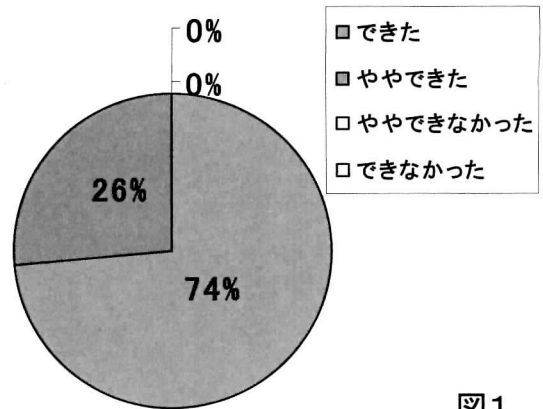


図1

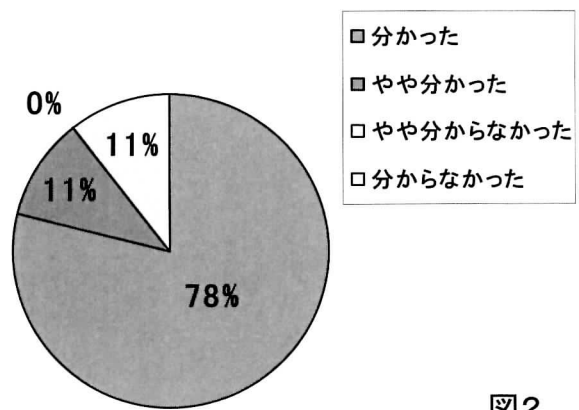


図2

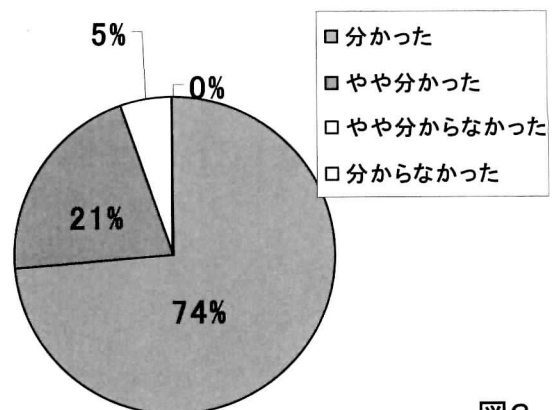


図3

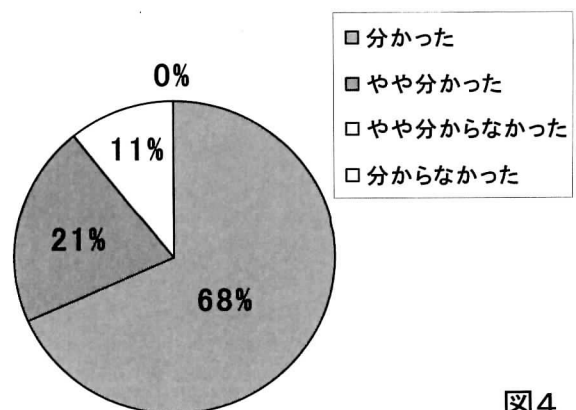


図4

にすることの重要性を挙げている。今回のDVD作成にあたり、牽引の方法と注意点に絞ったことで患者指導のポイントがはっきりしたことや、患者へDVD視聴の目的を伝えたことでDVDの位置づけを行ったことが、患者の理解を深めることにつながったと考えられた。また、「機器も教材も万能ではなく、その機能に依存しすぎないように注意しなければならない」<sup>1)</sup> としているように、患者からも説明方法としては、DVDとパンフレットの両方を使用してほしいとの意見が多く聞かれた。パンフレット使用時には、看護師は患者の反応をみて、理解が得られているか確認しながら、また、必要な部分は再度口頭で補足説明を行うことが大切であると考えられた。

今回の調査から、牽引についておおむね理解が得られており、治療のイメージがつく内容であったとの結果を得た。しかし、DVDを分かりやすく簡潔にと心がけたが、重要な事項や注意点をもっと詳しく説明してほしいとの意見もあったため、DVDの一部修正も検討していく必要がある。

## 6. 今後の展望

本研究では、DVDの作成と評価のみを行ったため、実際にDVDの視聴により患者の言動に変化がみられたかについては評価できていない。今後、DVDによる患者指導で患者の言動に変化がみられたか、安静を守れない等のトラブルが減少したかを検証していく必要がある。

### 《引用文献・参考文献》

- 1) 石田敏子：視聴覚資料の効果的利用，講座 日本語教育，vol13，54-69，1977
- 2) 岩田幸枝，武田佳子，熊川沙織，ほか：肩腱板手術を受ける患者に対する術前指導の効果ーパンフレットを改善してー，東日本震災会誌，24：181，2012
- 3) 浦野美智子，鈴木由美，谷川真知子，ほか：肩腱板断裂患者の夜間けん引の苦痛に関する調査報告，信州大学医学部附属病院看護研究集録，32 (1)，11-15，2004-03

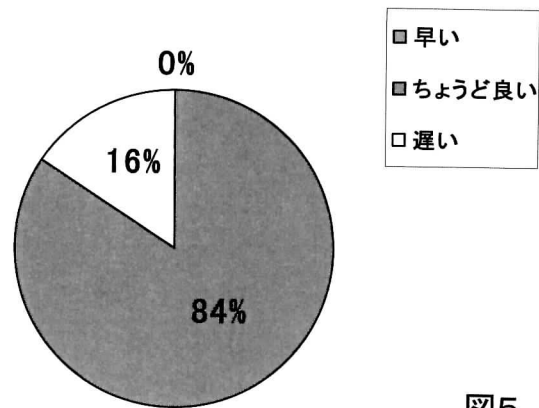


図5

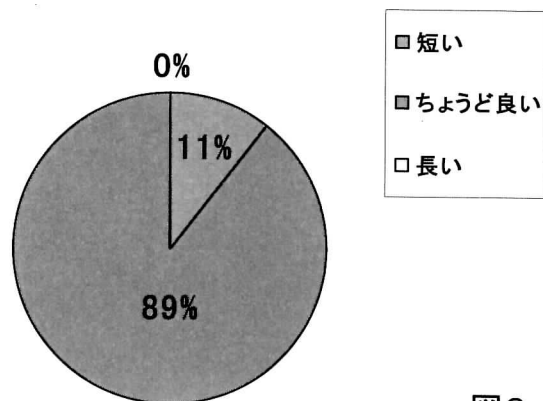


図6

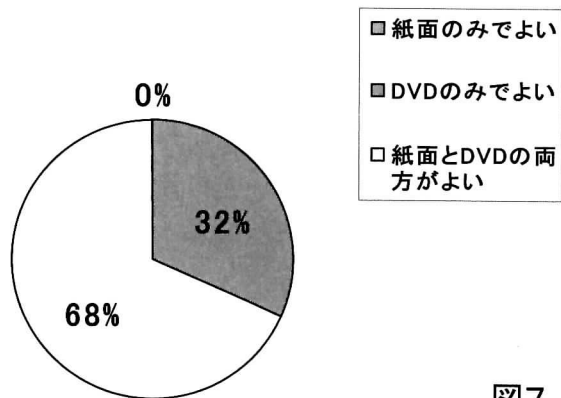


図7